

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000648	部名	福祉保健部	課名	健康推進室	
計画事業事業名	がん検診(①前立腺②胃③大腸④働く世代の大腸⑤肺)							
構成予算事業名 (財務会計コード)	前立腺がん検診						(410329)	
	胃がん検診						(410330)	
	大腸がん検診						(410331)	
	働く世代の大腸がん検診 (H27まで)						(410373)	
	肺がん検診						(410332)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健指導費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○受診率の向上が課題である。</p> <p>○検診の対象となった直後(最初)のアプローチを強化する必要がある。</p> <p>○広報のあり方についても、市民へ「コスト」を意識させる、体験談を伝える等色々な工夫をする必要がある。</p> <p>○健診を受けない人に理由を調べることも有効なのでは。</p>							
担当課 としての考え	<p>○がんの早期発見により医療費の削減効果はある事業と考える。</p> <p>○棚卸しで出された課題の受診率の向上に向けて、啓発媒体の見直しや方法を検討する必要がある。</p> <p>○検診の対象となった直後(最初)のアプローチ(個別通知)は継続して実施・検証し、より効果のあるものにする。</p> <p>○昨年健康増進計画アンケートで検診を受けない理由として、若い世代は検診を受ける機会があることを知らない、他は「忙しいから」「別の手段で受けている」という回答を得ているので対策を考えていきたい。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>○市民への「検診コスト」を意識させた広報等の検討・強化</p> <p>○個別勧奨の方法検討と強化(個別通知の歳に、対象者の検診受診方法の把握(会社で受検等)などが出来ないか検討する)</p> <p>○5～10年毎の罹患率等の動向・推移を把握していきながら、検診実施方法・費用の見直し検討を関係機関と協議していく。</p> <p>○受診率については、国ワーキングや府が把握されているけんぽ組合情報等の動向をみていきながら、本市独自の算出方法等も持つことを検討する。</p>							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<p>・40歳等 若い節目の年代への個別通知等勧奨と意向確認(特定健診受診勧奨とドッキング)</p> <p>・早めの受診勧奨(コール・リコール、精密検査者含む)を実施</p> <p>・検診コストを意識した広報啓発の工夫を実施</p> <p>・受診率について、国ワーキング等の動向をみていきながら、本市独自の算出方法等も持つことを検討する。</p>				-	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000649	部名	福祉保健部	課名	健康推進室	
計画事業事業名	女性のためのがん検診推進事業(子宮・乳)							
構成予算事業名 (財務会計コード)	女性のためのがん検診推進事業						(410361)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健指導費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○検診は市町村の取組として必要であり、医療費削減と健康長寿の達成には不可欠である。</p> <p>○医療費の削減効果を捕捉すべきである。</p> <p>○受診率が低い場合、向上策の検討を要する。(一般、精検含む)</p> <p>○委託費の内訳で見直すべきところはないか、さらに精査が必要である。</p> <p>○受診率の把握については、対象年齢をしばり込むこと(例えば、20～74歳とするなど)が必要である。それにより実効的な水準を見定めるべきである。</p> <p>○医療費の削減効果について、一度試算しつつ、全体的な効果を訴求すべきである。</p> <p>○成果としては、患者数の減少が見えるとよい。</p> <p>○検診に及び腰になっている要因を調査して対策を立てるべきであり、検診料の無料化もメリット、デメリットを明らかにしながら検討することも考えられる。</p>							
担当課 としての考え	<p>○棚卸しで出された課題について受診率の把握や、啓発媒体の見直しや方法を検討する必要がある。</p> <p>○無料クーポン対象者(新規者)アプローチ(個別通知)は継続して実施・検証し、より効果のあるものにする。</p> <p>○無料クーポン送付者に意向調査をした結果を把握し対策を考えていきたい。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>○医療費の削減効果を検証し、市民への「検診コスト」を意識させた広報等の検討や対象者・検診内容・検診費用の見直し検討をしていく。</p> <p>○無料クーポン対象者への個別通知と、より効果的な個別勧奨の方法検討</p> <p>○5～10年毎の罹患率等の動向・推移を把握していきながら、検診実施方法等の見直し検討を関係機関と協議していく。</p> <p>○受診率については、国ワーキングや府が把握されているけんぽ組合情報等の動向をみていきながら、本市独自の算出方法等も持つことを検討する。</p>							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・若い節目の年代(子宮:20歳、乳:40歳)への個別通知等勧奨 ・早めの受診勧奨(コール・リコール、精密検査者含む)を実施 ・検診コストを意識した広報啓発の工夫を実施 ・医療費の削減に関する試算 ・受診率について、国ワーキング等の動向をみていきながら、本市独自算出方法等の検討 				-		

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000655	部名	福祉保健部	課名	健康推進室		
計画事業事業名		医療人材の確保							
構成予算事業名 (財務会計コード)		地域医療・医療従事者養成確保事業					(410116)		
予算科目等		会計名	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見		<p>【地域医療確保研修・研究補助金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象を公的病院に限る必要が見出せない。 ○論文数の目標は言い訳に見える。 ○これによって医療人材確保ができた、どうやって評価できるのかを検討し直されたい。 <p>【医師養成確保奨学金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貸与、返還事務を外部化することも検討すべきである。 ○府の奨学制度との重複をどのように判断するか。明確な考えを持つ必要がある。 ○市内病院に勤務、開業する医師すべてを対象とすべきであり、対象を公立病院のみに限定していることは、地域医療人材の確保及び質の向上を図るという目的からするとおかしい。公立病院に限るのならば、病院会計内で独自に措置すべきものである。 ○奨学金の水準や対象が適切かどうか見直すべきである。 							
担当課 としての考え		<p>【地域医療確保研修・研究補助金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市で従事いただく医師のスキルアップを図ることを目的に論文数を研修研究補助金の成果目標としていた。 ・本市の地域医療・医療従事者を確保するという目的であれば、事業の対象者については、他市の状況も踏まえて今後研究をしていきたい。 <p>【医師養成確保奨学金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金制度により、市民病院等公的医療機関での勤務定着について一定の成果はあがっている。 ・効果的な医師の定着を図るための奨学金制度となるよう、事業の精査を行っていきたい。 							
全体的な 見直し方針		<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業内容を整理し、実施内容について精査する。 							
見直し方針区分		C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)					【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		
	平成29年度	将来的な医師確保に関する計画や制度見直しに係る基礎資料の情報収集を実施					-		

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000660	部名	福祉保健部	課名	健康推進室	
計画事業事業名	健康づくり推進事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	健康づくり推進事業						(410347)	
	健康増進計画推進事業						(410363)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健指導費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>【健康増進計画推進事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福知山市に特徴的な疾病の状況に照らして有効な手段(野菜、ウォーキング等)となっているのか、精査すべきである。 ○福知山市の疾病の特徴を捉える必要がある、それによって成果は変わる。 ○この活動水準で目標に達する(5年後)のか、有効性を考えつつ実施すべきである。 ○景品の提供を企業等に求めるなどの工夫は見られる。 ○ウォーキングに取り組むのが一般的になるロードマップをしっかりと描く必要があるのでは。 ○企業等の更なる活用を積極的に考えるべき。 ○人件費が多くかかっており、地元団体や公立大学等の連携により、市のお金○労力をできるだけかけない形で取り組めるように更なる工夫をされたい。 <p>【健康づくり推進事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食改員の確保対策と今日的な活動のあり方を抜本的に再構築すべきである。 							
担当課 としての考え	<p>【健康増進計画推進事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の特徴的な疾病の状況を詳細に分析し野菜摂取、運動などが疾病対策にどのような効果があるのかの検証をする必要がある。 ・健康活動について応援する事業所を増やしていき、自主的に健康活動に取り組めるような仕組みを考えていく。 ・公立大学や地域等とも連携し、ウォーキングを含む健康活動に取り組む方策を進める必要がある。 <p>【健康づくり推進事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代にも呼びかけ、食改員の裾野を広げる必要がある。 ・若い世代の食改員が継続して活動できる環境づくりの整備が必要である。 							
全体的な 見直し方針	<p>企業、大学、地域等との連携を図り、自主的に健康活動に取り組んでもらえる仕組みをつくる。また、計画に係る事業の効果検証を確実に実施し、より効率的で効果的な事業実施を図る。</p> <p>食改員に対しては、新規に養成された方々が継続して活動しやすいような支援を考える。</p>							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の特徴的な疾病の状況を分析し効率のよい疾病対策の取組みを探る。 ・食改員の先進的な取組みを行っている事例等について情報収集をする。 				-	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000672	部名	福祉保健部	課名	健康推進室	
計画事業事業名	不妊治療費支援事業(不妊治療費助成事業)							
構成予算事業名 (財務会計コード)	不妊治療費助成事業						(430505)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○出生に至った割合は評価できる水準にあり、事後の捕捉も努力され、一定の成果は見える。 ○上限ありとはいえ、金額の公費負担は、他の疾病等とのバランスを欠き、一定再検討すべきである。 ⇒保険適用、適用外の負担水準も、それぞれ再検討が必要でないか。 ○事務負担を減らす工夫は必要である。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、本市の少子化対策のひとつの大きな柱となっており、出生数の減少幅が少ない理由のひとつとして、本事業の効果があるものと考えている。 ・今後、国、京都府の不妊対策の動きもみながら、棚卸しで出された課題について、さらに再検証を行い、再検討したい。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国、京都府及び他市町の動向もみながら利用上限額、申請要件等の検討を図っていく。 ・申請者の傾向を調査し、利用内容等を分析する。 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国、京都府及び他市町の動向もみながら申請内容を分析し、一般不妊治療費助成上限額の見直し等の検討を行なう。 				-	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000699	部名	福祉保健部	課名	地域福祉課	
計画事業事業名	社会福祉推進事業(福祉バス運営事業)							
構成予算事業名 (財務会計コード)	福祉バス運営事業						(440104)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○利用者の公平性に著しく欠けている。</p> <p>○老朽化しており、更新時の負担が増大するおそれがある。</p> <p>○そもそも、白バス行為が疑われる運用であるため、貸し出しは早急に取りやめ、福祉バスは身障者の移送等、他に代替手段がない場合の提供と市主催事業の車両使用にとどめるべきである。</p> <p>○老朽化している広報バスは需要の低下に合わせて廃止するべきである。</p> <p>○市主催事業による利用が中心となった場合は、必ずしも福祉部署で車両管理の事務を行う必要はないのでは。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・貸し出しについてはバスの台数、また利用希望時季の重複などから利用者は限定されている状況である。 ・広報バスは平成11年度、福祉バスは平成15年度の購入であり、老朽化に伴う修繕費の増大が見込まれ、故障も多く、事故発生時のリスクも高い。 ・福祉団体への貸し出しについては、その必要性を懸念していたところであるが、車椅子リフトがあるバスの台数が非常に限られていることから、障害のある人の外出支援にはその必要性があることを認識している。また、利用してきた福祉団体への影響も大きいことから、十分な説明が必要となる。 ・障害のある人の利用に対する支援をどう行うかなど整理が必要である。 ・年間の2台のバスの利用状況から広報バスの廃止が考えられるが、市主催事業で2台のバスを利用している事業もあることから廃止による予算の増大が見込まれる。また、市主催事業の日程が重複しないよう情報共有を図る必要がある。 ・バス管理の所管は必ずしも福祉保健部である必要はない。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉団体への貸し出しは取り止め、市主催事業のみで使用する ・広報バスを廃車する ・バスの所管課を変更する 							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉団体への貸し出しは取り止め、福祉バス1台のみを所有する。 ・バス所管課の変更 <p>*バス2台を使用し、市主催事業を実施している課や事業実施日が重複した課については、予算増が見込まれる。庁内各課へは周知済。</p>				△ 1,555		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000304	部名	福祉保健部	課名	子育て支援課
計画事業事業名		病後児保育サービス事業					
構成予算事業名 (財務会計コード)							
予算科目等		会計名		款		項	
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見		<p>○ほとんど利用がなく事業廃止の予定。 ○利用が少なかったためニーズが無いとして事業をやめる、ということではなく、ニーズの把握の方法の問題点や利用されなかった理由を整理され、他の事業に活かされたい。</p>					
担当課 としての考え		<p>・子育て支援、就労支援の観点から必要不可欠な事業であると認識し継続してきたが、病気の回復期にある乳幼児のみが対象であるため利用者が非常に少なく、市民のニーズに応えられていないと認識していた。</p>					
全体的な 見直し方針		<p>・平成27年9月より病児保育所開設に伴い、病後児保育はそちらに統合する。</p>					
見直し方針区分		C 予算削減を伴わない事業見直し					
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	
	平成29年度	・病児保育サービス事業への統合				0	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000327	部名	福祉保健部	課名	子育て支援課	
計画事業事業名	子どもに対する医療費支援事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	ふくふく医療費支給事業						(430510)	
	京都子育て支援医療費支給事業						(430501)	
	未熟児養育医療給付事業						(430502)	
	自立支援医療(育成医療)給付事業						(430503)	
	日常生活用具給付事業(小児慢性特定疾患児)						(430515)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費 児童福祉費	目	社会福祉総務費 児童福祉総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○安易な無料化は過剰な受診につながり危険。受診数・率の推移に注意を向けるべき。</p> <p>○利用者を分析し利用実態を把握した上で、生活が厳しい低所得者への配慮や、所得制限、自己負担のあり方について検討すべきではないか。</p> <p>○事業の目的からすると、子どもの健康状態を成果指標とするべき。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費の無料化を含めた対象年齢の拡大、自己負担金の軽減は、これまでから検討してきた課題である。 ・生活が厳しい低所得者のうち、生活保護受給世帯については医療費全額公費で負担、ひとり親については医療保険各法による医療自己負担額の全額を公費で負担する制度がある。 ・その他の生活が厳しい低所得者、所得制限、自己負担のあり方については、安定的な財源確保などと合わせ、今後検討していく必要がある。 							
全体的な 見直し方針	生活が厳しい低所得者、所得制限、自己負担のあり方について、平成29年度以降引き続き検討していく。							
見直し方針区分	E 現行通り							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・制度については、現行通り。 ・生活が厳しい低所得者、所得制限、自己負担のあり方については、安定的な財源確保などと合わせ、検討していく。 				0		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000996	部名	福祉保健部	課名	子育て支援課	
計画事業事業名	病児保育サービス事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	病児保育サービス事業						(430341)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○病児保育の体制整備は市の責務である。</p> <p>○利用者数年間目標140人が適切な水準と言えるかどうか、また初年度利用者数延83人の利用数はどのように評価するか、よく検討されたい。</p> <p>○医療機関併設型の悪いところが出ていないか、保護者に負担をかける仕組みになっていないか、検討を要する。</p> <p>○申込→診察→受付という流れが、保護者にとって負担となっていないか、利用者の声から検討すべきである。(PM6時のお迎えも含む)</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 実際に利用したい人の朝・晩の動きと、手続き等がマッチしていないように見受けられる。</p> <p>○診察は市民病院だけでなく、かかりつけ医でも可とされたい。利用者が、利用しやすい保育サービスにつくり変えるべきである。</p> <p>○利用数の少なさの理由を単に周知不足として周知回数を増やすのではなく、しっかりと利用者のニーズを把握し、周知の方法も工夫されたい。</p> <p>○新聞の記事としてとりあげてもらえるような工夫もしてはどうか。</p> <p>○開始から1年ということで、チェックの時期。利用しやすい制度になっているか保育所等でヒアリング等を行って点検されたい。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育サービス事業では応えられなかったニーズにも対応できる、子育て支援、就労支援として、不可欠な事業と認識している。 ・現在の課題は、利用者数が伸び悩んでいることであるが、利用者にとって利用しにくい制度設計になっていないか検証が必要である。 ・しかし、例えば利用時間の拡充や受付、支払等の簡素化、市内に複数か所設置すること等は、現在の体制上では非常に難しい。 ・また、ほとんどが人件費であり、職員の配置基準もある中では見直しによる経費削減は見込めない。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを把握し、費用と事業効果を見極めながら改善していく。 							
見直し方針区分	E 現行通り							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績、利用目標等の検証 ・利用者のニーズ把握、周知方法の検証 				0		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	001026	部名	福祉保健部	課名	子育て支援課		
計画事業事業名		助産委託事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)		助産委託事業					(43031501)		
予算科目等		会計名	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見		<p>○市負担前提の国制度であり、安全な分娩が行われることが至上命題の事業である。</p> <p>○「保健上、必要があるにもかかわらず、経済的理由で入院助産を受けることができないもの」が、申込みを行い、この制度を活用できているのか、確認することが重要である。病院等との連携を進められたい。</p> <p>○望まない出産を、どれだけ捕捉できるかは難しいが、周知も含めてあり方は検討してもらいたい。</p> <p>○関係団体と連携して出産後のサポートを今後も継続されたい。</p>							
担当課 としての考え		<p>○本市では、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制を整備しているところである。</p> <p>○健康推進室においては、利用者支援事業(母子保健型)がスタートし、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠中から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制の構築をすすめている。</p> <p>○母子健康手帳交付時等で経済的理由で助産を受けることができないことが把握した、助産制度の紹介とともに担当課とのつなぎをおこなっている。また、生活保護世帯の場合は社会福祉課担当者から必要に応じて助産制度の説明を行っている。</p>							
全体的な 見直し方針		<p>○事業の周知については、現行の取組みを継続するほか、妊婦と関わる関係機関から必要な方に制度の説明ができるよう、連携を深める。</p>							
見直し方針区分		E 現行通り							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)					【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<p>○事業の周知については、現行の取組みを継続するほか、妊婦と関わる関係機関から必要な方に制度の説明ができるよう、連携を深める。</p>					0	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000278	部名	福祉保健部	課名	社会福祉課	
計画事業事業名	自殺対策事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	自殺対策事業						(420318)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉援護費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○高止まりしている自殺死亡率の改善は急務である。</p> <p>○成果に「自殺者数」を置くべき。</p> <p>○他課、民間窓口等との連携をさらに図るべき。</p> <p>○個人情報に関わる場所で困難さは伴うが、各種の相談事業と連携して自殺死亡率を下げるが必要不可欠である。</p> <p>→現状の講演会等では、問題解決に対する効果が極めて限定されるため、民間及び各課との連携による体制づくりから始めるべきである。</p> <p>○毎年度、警察に自殺者の年齢・職業・持病の有無など聞いて傾向をつかむことが有効ではないか。</p> <p>○市が何かをするのではなく、ハブとなって関係機関のとりまとめをされたい。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策基本法の一部改正により、市町村自殺対策計画の策定が義務づけられた。 ・本市では、平成29年夏頃に示される予定である国のガイドラインを受けて、平成30年度までに(仮称)福知山市自殺対策計画を策定する予定である。 ・今回の棚卸しでいただいた御意見(他機関との連携、ハブとしての機能など)を踏まえ、計画策定時に検討する。 ・警察に対して、自殺者の年齢・職業・持病の有無などの確認を行いたい。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標については、平成28年度より変更する。 ・自殺対策に向けた、各関係機関等とのシステムづくり等については、計画策定時、また、計画の中に反映する。 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)福知山市自殺対策計画の検討(視察研修、策定委員の検討など) 				-	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000279	部名	福祉保健部	課名	社会福祉課	
計画事業事業名	障害者安心おでかけサポート事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	障害者安心おでかけサポート事業						(420368)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○外出支援は必要と思うが、タクシー利用券という方法は適切なのか疑問である。</p> <p>○利 550/対 1,257 … 利用者率は適正か？</p> <p>○券利用率の64.7%という数字がどれだけの外出実績となっているか疑問である。</p> <p>○使用率は低く、十分に活用されているとは言い難いが、使用分のみで支払いで費用としては最小限となっている。</p> <p>○申請主義で、なおかつ券利用率は60%台という状況が、身障者の外出サポートとして十分な水準かどうかは疑問である。対象者1,257名を、どのように捉えるかよく考えられたい。</p> <p>○一度、対象者全員に配布するとどうなるか検討をされたい。(寝たきり等をどうするかという課題はあるが)</p> <p>○5年に一度程度でも利用状況(ひとりあたり使用枚数、平均、最高、最低など)の精査が不可欠であり、それを制度見直しに活かされたい。</p> <p>○一枚200円という設定の妥当性も検討が必要である。500円の方が使い勝手がよいのかなど。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、障害のある人の社会参加を促進するための事業のひとつとして実施しているものであり、重度障害の方を対象に、タクシー等での移動を支援するものである。 ・しかしながら、効果として必要な利用率や利用枚数などの詳細な利用状況の把握はできていないため、可能などころから、その把握に努めていきたい。 ・こうした内容を基に、今後の制度見直しにつなげていきたい。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘のあった利用状況(ひとりあたり使用枚数、平均、最高、最低など)の精査を進め、それを基に制度設計を検討する。 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	詳細な利用状況(ひとりあたり使用枚数、平均、最高、最低など)の把握 事業の認知度の調査(別事業で計上している実態調査を活用)				0	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000341	部名	福祉保健部	課名	高齢者福祉課	
計画事業事業名	在宅老人介護者激励金支給事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	在宅老人介護者激励金支給事業						(420214)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○何を意図するものか(労苦に報いるのか、低所得者対策か、等)を明確にすべきである。</p> <p>○目的が明確でないために、具体的な成果がイメージできていない。</p> <p>○申請主義で、定量的な分析も不十分である。</p> <p>○3万円の根拠がない。</p> <p>○まずは、在宅介護者の実態を把握することが必要であり、それは事例ではなく、定量的にされたい。</p> <p>その後、政策的に手当すべきものがあるかどうかを判断しつつ、制度設計し直すことが必要である。必要性がなければ、他制度等で吸収することも検討されたい。</p> <p>○介護保険事業において一定の負担軽減が行われている中で、なお負担が大きいと思われる部分への支援として行うのならば、どの程度の負担に対してどの水準まで支援を行うかを、経済的状況の調査も含めて調査し、見極めていく必要がある。</p> <p>○在宅で介護している家族の労苦に報いるのであれば、所得制限・申請主義というのは疑問を感じる。</p> <p>○対象者が何名で実際の給付がその何割になっているのか把握し、数年に一度制度を見直すべきである。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり目的、根拠等が明確でないところがある。 ・保健福祉計画策定に関するニーズ調査等を活用し、在宅介護者の実態把握等を行いたい。 ・そのため、30年以降に改善・反映を行っていきたい。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・関連事業との統合も含め、ニーズ調査により支援策の検討・実施 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査の実施 				-		

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000344	部名	福祉保健部	課名	高齢者福祉課	
計画事業事業名	家族介護慰労金支給事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	家族介護慰労金支給事業						(420541)	
予算科目等	会計名	介護保険	款	地域支援事業費	項	包括的支援・任意事業費	目	任意事業費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○0ないし、1名の対象者では成果ありと評価できない。</p> <p>○10万円の根拠なし。要介護度3以上の根拠もなし。</p> <p>○何らの根拠も、政策的意図も感じられない事業であり、計画事業番号「341在宅介護者激励金支給事業」とあわせて抜本的に見直しをされたい。</p> <p>○介護事業で予防事業も含めたサービスを提供している中で、介護サービスを利用しないことに対する慰労金を支出する矛盾についても考える必要があるのではないか。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり1名程度の対象者で評価できない。 ・目的、根拠等が明確でないところもあるため、慰労金支給事業は廃止する。 ・なお、計画事業番号「341在宅介護者激励金支給事業」については、今年度から在宅介護者の実態把握等を行い、30年以降に改善・反映を行っていきたい。 							
全体的な 見直し方針	事業の廃止							
見直し方針区分	A 廃止							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	事業の廃止				△200		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000360	部名	福祉保健部	課名	高齢者福祉課	
計画事業事業名	訪問型介護予防事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	介護予防・生活支援サービス事業						(420529)	
予算科目等	会計名	介護保険	款	地域支援事業費	項	介護予防・生活支援サービス事業費	目	介護予防・生活支援サービス事業費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○国のチェックリストがどこまで実態に即しているかは疑問であり、市として二次予防対象者を何とかして把握することが必要。</p> <p>○地域の中で、民生委員や自治会長から聞き取りをするなど、手段を尽くして対象者を把握すべきではないか。</p> <p>○事業としての必要性は高い。</p> <p>○地域包括ケアシステムの中での位置付けから見直すことが必要。</p> <p>○成果はサービスを受けた人の改善率であり、成果指標として持たれたい。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業については、29年度からは介護予防・日常生活支援総合事業の短期集中介入サービス事業として実施していく。 ・対象者の把握については、民生委員や自治会長、ケアマネジャーなど総合事業の事業周知を行う中で徹底していきたい。 ・サービス利用に係る改善率を成果指標として導入していきたい。 ・事業対象者の把握方法としては本事業の相談窓口でもある地域包括支援センターの実態把握において把握を行っていきたい。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業は廃止とする ・介護予防・日常生活支援総合事業の短期集中介入サービス事業として実施していく。 							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業は廃止とする(事業費全額減額△2,590千円) ・介護予防・日常生活支援総合事業の短期集中介入サービス事業として実施していく。 (サービスC事業費10,934千円+11,730千円) 				20,074	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000361	部名	福祉保健部	課名	高齢者福祉課	
計画事業事業名	元気アップ事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	介護予防普及啓発事業						(420531)	
	地域介護予防活動支援事業						(420540)	
予算科目等	会計名	介護保険	款	地域支援事業費	項	介護予防・生活支援サービス事業費	目	介護予防・生活支援サービス事業費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○行政は実態分析にシフトし、現場でのトレーニングは市民が主体的に行うような仕組みを作られたい。</p> <p>○参加者・非参加者、参加前・参加後、参加者の属性といった参加者データの把握をし事業効果を検証しなければならない。</p> <p>○介護認定率の変化を指標に入れるべき。</p>							
担当課 としての考え	<p>・本事業については、29年度からは介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業として実施していく。</p> <p>・これからの介護予防事業の考え方として、年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していきたい。</p> <p>・事業効果の検証については、事業の性質上、参加者個別のデータ分析が評価しにくい所であり、地域(圏域)ごとの「活動」「参加」を指標として取り入れていきたい。</p> <p>・介護認定率等の変化についても、地域ごとの指標として導入を検討していきたい。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>・現行事業は廃止とする</p> <p>・介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業として実施していく。</p>							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<p>・現行事業は廃止とする(事業費全額減額△7,948千円)</p> <p>・介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業として実施していく。</p> <p>(一般介護予防事業12,338千円)</p>				4,390	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000364	部名	福祉保健部	課名	高齢者福祉課	
計画事業事業名	家族介護者支援事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	家族介護者支援事業						(420534)	
予算科目等	会計名	介護保険	款	地域支援事業費	項	包括的支援・任意事業費	目	任意事業費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○地域包括への相談等を受けとめるひとつの道筋として期待される場所だが、内容的には不十分に見える。</p> <p>○そもそも家族介護者がどれだけいるのか、どのような家族介護者に対し、どのような機会を創出するのか、というねらいが描けていない。</p> <p>○在宅介護をしている対象が2,200人くらいであるなか、81名の参加は、成果として不十分である。</p> <p>○費用は最小限で行っているが、そもそもこれがねらいに対して十分な費用負担となっているのかが問題</p> <p>○何をねらい、どのような機会をつくり出そうとしているのか、意図するところが見えない。できることを、できる範囲でやっているだけでは意味がないのではないか。</p> <p>○地域包括等と連携するしくみをつくられたい。</p> <p>○どのような家族介護者を対象とするのかイメージをクリアにし規模感を打ち出すことが必要。</p> <p>○本気で成果を求めて取り組むつもりであるのなら、目標参加者はこんなもの(30人)でないはず。</p> <p>○毎回テーマを変えて試行錯誤されたい。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者のイメージ、事業のねらい等、ご指摘のとおり明確でないところがある。 ・H28年度からは、地域包括支援センター委託に伴い、包括支援センター主催で圏域単位で実施を行っているため、参加者からの相談等はダイレクトに聞くルートができています。 ・対象者の選定、事業規模等把握する上で保健福祉計画策定に関するニーズ調査により、具体的な支援策の意向を確認することを取り入れたい。 ・そのため、30年以降に改善・反映を行っていききたい。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・関連事業との統合も含め、ニーズ調査により支援策の検討・実施 							
見直し方針区分	C 予算削減を伴わない事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	・ニーズ調査の実施				-		/